

# 殿山第二小だより

令和 5年 5月 12日 第 5 号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

大型連休が明けて、1学期も中盤の時期となります。子どもたちは、新しい学年・学級での生活にも慣れてきたところだと思います。

社会生活では、3年間続いたコロナ禍生活もインフルエンザと同様の扱いとなることで、開放感も生じてきています。

第4号で「あいさつは人と人をつなぐ言葉です。」とお伝えしましたが、

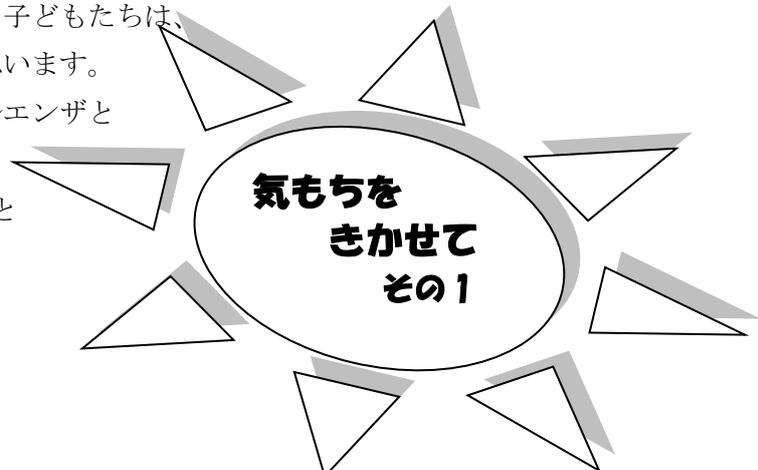
あいさつの「あ」は、**あ** かるく (明るく)

あいさつの「い」は、**い** つも (いつも)

あいさつの「さ」は、**さ** きに (先に)

あいさつの「つ」は、**つ** たえる (伝える)

あいさつの言葉を、一人ひとりの子どもたちが、互いに掛け合うことで、気持ちを前向きに、いろいろなことにチャレンジしていく5月を過ごしてほしいと思います。また、友だちが元気のない様子であれば、「どうしたの？」と相手を気遣う言葉をかける「優しい心」で、互いに思いやりの心を育ててほしいと思います。



## 『感情』は……

- ① 感情にいいも悪いもない。
- ② 感情をもつことはよいこと。
- ③ 感情は変化する。
- ④ 感情と行動は別のもの。
- ⑤ 感情表現はさまざま。
- ⑥ 感情は出せば穏やかになる。
- ⑦ 感情には段階がある。
- ⑧ 感情は誰もが持っている。

左枠に示した内容は、以前、大阪府政策企画部青少年・地域安全室治安対策課 編集の犯罪被害から子どもを守る取り組みをどのようにすすめていくかをまとめられた『子どもたちも社会の一員』という冊子の中に記されていたものです。

『感情』について基本的な8つの概念が記載されていました。

「感情をもつことはよいことであり、誰もがもっている。そして、感情表現には様々な表現方法があり、表現できれば穏やかになれる。感情は変化する、段階をふんでいく。……」

何か難しそうな『感情』ではありますが、誰もが人として生きていくうえで、自身の中で生起する感情をどのように表現すればよいかと考えることは必要なことです。その場・その時に応じた“感情のコントロール”の仕方(対処法)を身につけていくことが大切なことだと思います。

大人も子どもも、前向きになれる感情表現で、互いに笑顔になれる人間関係づくりに努めていきたいものです。

**あ** 明るく・いつも・先に・伝える、“あいさつ”をこれからも心掛けていきましょう!! **あ**

なにかをひとつ  
やなせたかし

なにかをひとつ  
しるたびに  
なにかひとつの  
よろこびがある  
なにかひとつを  
まなぶたび  
なにかがひとつ  
わかってくる  
もつとしたりたい  
まなびたい  
無限の道を  
すすみたい

『勇気の歌』フレイベル館

